

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第8号

令和6年12月2日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

今年度最後の通信になります。将来を見据えてみましょう！

さあ、2040年までにどんなことが起こるのでしょうか。

「2040年 仕事とキャリアの年表」 植田 統著 三笠書房の中身を少し見てみましょう。

このような予想を参考にしながら、将来を考えることは重要です。

みなさんはどのように生きていきますか？

2025年 「大リストラ時代」の幕開け。「70歳現役時代」の到来。

現在、60～64歳までの雇用率は、すでに8割に上昇している。

2027年 リスキリング 中高年の「学び直しブーム」爆発

リストラ時代という流れに対抗するために、自分のスキルを高める「学び直し」に火がつく。世界経済フォーラムの予測では、**2025年までに事務職や工場労働者など、8500万人分の雇用が失われる一方で、データアナリストなど9700万人分の仕事が新たに生まれるとされている。→→ 学び直しが超重要！**

2029年 若手社員の「転職」が激増！

今の日本企業の仕事のスタイルが年功序列、上位下達など、若者の求める合理的な仕事スタイルになっていない。

給与をアップさせるために外資系の企業（ジョブ型雇用）への転職が増える。

2031年 サラリーマン「超格差社会」の到来！

転職が盛んになり、いい職に就けた人は、面白い仕事をするチャンスに恵まれ、いい給与をもらい、充実した生活が送れるようになる。ジョブ型雇用が広がり、ジョブによって給与に格差がつく時代になる。

「どの会社か」でなく「どの職種か」で給与が決まる時代

2033 年 社長は「外国人」「女性」が当たり前
ようやく、女性が「活躍できる社会」が来る

うちの**社長は「外部からのプロ経営者」**

会議ばかりやって何も決まらない日本企業の風土は一掃される。

2035 年 「変わらない企業」はどんどん衰退する

2037 年 日本企業から「若手社員」が大量流出

2039 年 「生涯現役社会」の時代へ

2041 年 日本に「スタートアップ企業」が次々と生まれる！

日本経済は縮小し、国内マーケットにフォーカスしている企業の業績は悪化している
ので、高い賃金を支払ってくれる会社はなくなっている。もはや、

**「会社勤めをして安定した暮らしをする」という選択肢はなくなっているため、
多くの人がスタートアップに挑戦する**ようになっている。

2043 年 ついに、日本から「サラリーマン消滅」？

会社はジョブ型雇用になり、「自分を商品として売る」時代に。

**自分に投資し、スキルを身につけ、自分マーケティング戦略を考えて、自分を
商品として高く売ることを真剣に考えていく時代となる。**

いかがですか？ どう生きていきますか。今までの価値観が変わり、今までの常識が通用しなくなるのは確実です。新しい価値観の中で、みなさん自身が新しい生き方・自分なりの生き方を見つけて、進んでいくしかないのです

2040 年、みなさんは何歳でしょうか。しっかり働いている年齢です。スキルアップをしながら、人生を豊かにしていく時代になっていることでしょう。

「あなたは何ができるのか」「専門は何ですか」が問われます。何度も伝えていますが、好きなこと・やりたいことを基に勉強して、スキル・専門性を磨いていきましょう。

勉強は自分のためにするものです。試験のためではありません。これが本当の意味で理解できた人が成功していくのかも知れません。

If at first you don't succeed, try, try, try again.